

きたきゅうしゅうし おも 北九州市の主なホタル

ホタルは、世界に2000種類以上いるといわれています。

日本には、約50種類生息し、一生を陸上で過ごすホタルや光を発しないホタルもたくさんいます。

北九州市で見られる、光るホタルを紹介します。

名前	ゲンジボタル	ヘイケボタル	ヒメボタル
特徴	日本にしか生息していないホタルで、川で見られるホタルの多くはこの種類です。	水田など水の流れがほとんどないところで見られるホタルで、近年数が少なくなっています。	一生を陸上で過ごすホタルで、林の中などにいます。 メスは翅が退化して飛ぶことができません。
	原寸 (オス) 原寸 (メス)	原寸 (オス) 原寸 (メス)	原寸 (オス) 原寸 (メス)
大きさ	オス 14mm メス 18mm	オス 8mm メス 10mm	オス 7mm メス 5mm
見られる場所	川	水田や池	林の中
光り方	約2秒に1回	約1秒に1回	フラッシュのような光

みわかた

オスとメスの見分け方

オスとメスは発光器(お尻の光る部分)の数が違います。(オスは2箇所、メスは1箇所)

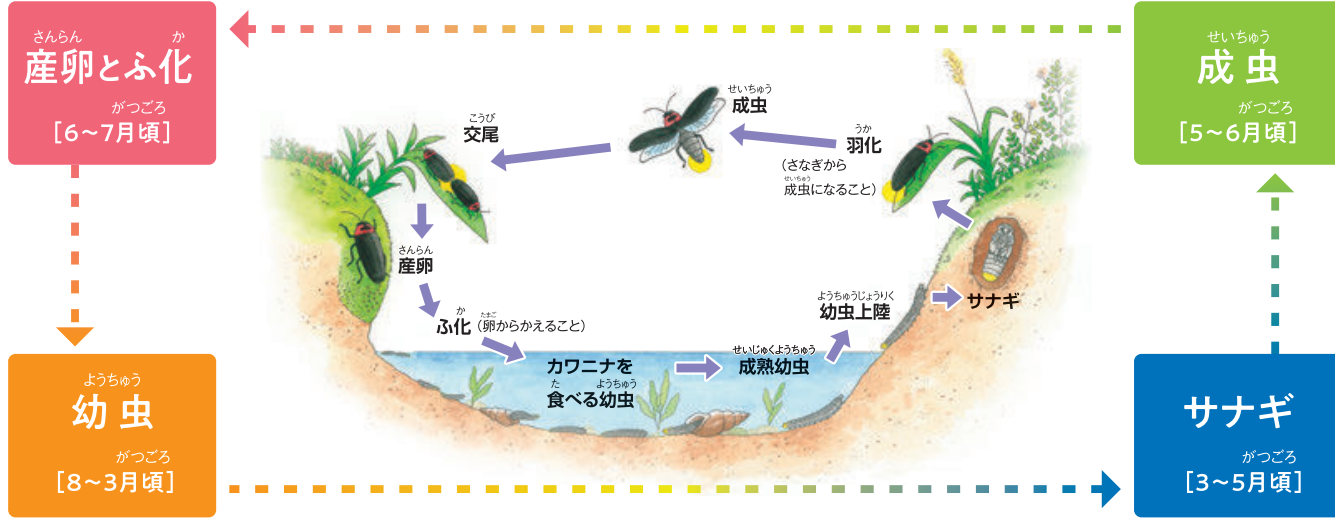
オス

メス

いっしゅう ゲンジボタルの一生

ホタルは、川岸のコケに 0.5mm ほどの小さな卵を産み付けていきます。だいたい 1 ヶ月でふ化が始まり、ふ化した幼虫は川へ入り、川底の石の下へ潜り込みます。

土の中で羽化したホタルは、やがて外に飛び立ち、風のない蒸し暑い夜に光りながら水辺の近くを飛びまわります。成虫はわずか 1～2 週間の命で、水を飲むだけで何も食べません。



幼虫のエサは、カワニナなどの巻貝です。幼虫は消化液を出してカワニナの肉を溶かして食べます。2mm ほどの生まれたての幼虫は、5～6回の脱皮のあと、20～30mm の大きさまで育ちます。幼虫も発光し、特に上陸のときに強く光ります。

成長した幼虫は、雨の降る暖かい夜に、光りながら川からはい上がります。そして、やわらかい土にもぐってサナギになります。

土の中にサナギがいる時期(3～5月) から、陸上に卵がある時期(6～7月)までは草刈りを控えましょう。

かん い ほたる館に行ってみよう！

「ホタルや水辺の生き物について、もっと知りたい！」と感じたら、「ほたる館」に行ってみませんか？

きたきゅうしゅうし かん 北九州市ほたる館

- 一年中昼間でも光るホタルを観察できる、全国的に珍しい施設
- ホタル以外の水辺の生物(ヘビやカエル等)も展示あり

小倉北区

ホームページ

Facebook

Instagram

〒803-0864 北九州市小倉北区熊谷2-5-1
TEL・FAX 093-561-0800
■開館時間 9：00～17：00 ■入場無料
■休 館 日 毎週水曜日[その日が休日にあたる場合はその翌日]、年末年始

かつき くるかわ かん 香月・黒川ほたる館

- ホタルなどの水辺の生き物や水辺の環境について楽しく学べる施設

八幡西区

ホームページ

〒807-1103 北九州市八幡西区香月西4-6-1
TEL・FAX 093-618-2727
■開館時間 9：00～17：00 ■入場無料
■休 館 日 毎週水曜日[その日が休日にあたる場合はその翌日]、年末年始